



いはやま



平成26年(2014年)

9月号

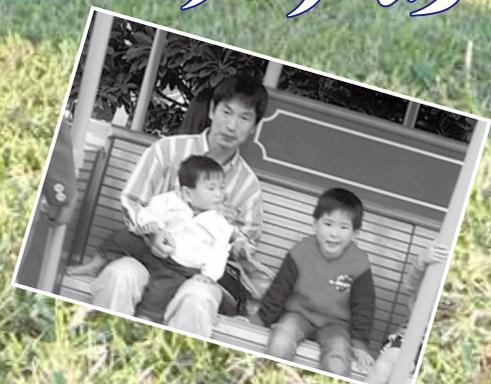
No.534

お父さんと行った場所や遊んだこと、
僕らはずーっと覚えているんだよ。



特集

男を磨く！子育てのすすめ



(写真) 南郷上ノ山公園で仲良く話す原健司さん・郁磨くん・光輝くん親子

今月の目次

特集 男を磨く！子育てのすすめ…… 3

子育てひろば …………… 8

健康情報 …………… 10

教育委員会だより …………… 12

町からのご案内—拡大版— …… 14

・9月9日は「救急の日」

・木造住宅の無料耐震相談会

・今年も開催！くるくる市 ほか

その他ご案内いろいろ …… 16

町職員募集 …………… 17

でんごんばん、人口 ほか …… 18

第四次葉山町総合計画 …… 20

9月1日は防災の日 …… 21

葉山町文化祭 …………… 22

町長と葉山のはなし

山梨崇仁町長コラム

Vol.6 強みと弱みの分析中
—葉山の「へえ」—



▲全国の町長村で4番目に若いそうです
(平成26年7月現在)

昨年、東京都を除く「社長の住む街ランキング」で、葉山町が全国の町村で日本一になったのは、ご存じでしょうか。今回は、そんな町の「へえ」と思うことのご紹介です。

一、犯罪が少なく安全
県内の刑法犯認知件数は、人口比で毎年一・二を争うほど少ないです。

二、平均寿命が長い
男女平均では県内3位で、男性81歳・女性87歳

三、海の水がきれい
一色海岸は9年連続AAの水質。昨年Bだった森戸海岸も今年はAAとなりました。

四、昼の人口が少ない
昼夜間人口比率は全国で下から19位。実に25%の人が町外に出ています。住みやすさや都内へのアクセスの良さが理由でしょう。バス運行の環境改善が大切ですね。

五、所得の高い人が多い

一昨年の一人あたりの課税所得額は全国17位。ちなみに「葉山は町民税率が高い」は誤解です。国税や町県民税率は全国一律。所得の高い人が多いため、そんな印象があるのかもしれませんが。今年も葉山御用邸120周年。歴史を尊び、先人に学び、明日の葉山を考える。葉山の「へえ」に、皆さんどう感じましたでしょうか。

《参考・出典：(株)東京商工リサーチ・神奈川県警・総務省・厚生労働省・環境省》

9月の相談

- ・消費生活相談（商品購入・多重債務など）
毎週水曜 9時30分～15時30分
 - ・人権相談（差別・虐待・いじめなど）
 - ・行政相談（国の仕事に関する苦情など）
9日（火）13時30分～15時30分
 - ・不動産相談 18日（木）14時～16時
 - ・司法書士相談（相続・成年後見など）
 - ・表示登記・測量相談（土地の境界など）
 - ・お住まいの相談（リフォーム・不具合など）
16日（火）13時30分～16時《予約制》
 - ・行政書士相談（離婚・遺言・交通事故など）
9日（火）13時30分～16時《予約制》
 - ・法律相談 12日（金）・26日（金）《予約制》
- 問合せ 町民サービス課 ☎内線 205
- ・成年後見制度無料相談会
湘南鎌倉後見センターやすらぎ
11日（木）14時～16時
社団法人コスモス成年後見サポートセンター
19日（金）10時～12時・13時～16時
問合せ 福祉課 ☎内線 231

相談場所は異なりますので、お問い合わせください。また随時実施している相談（DV相談や母子相談、子ども相談など）は、広報8月号12ページか町HPをご覧ください。

夕方17時のチャイムが町歌に変わります！
(詳しくは21ページへ)

特集

男を磨く！子育てのすすめ

玉木雄三さん・咲名ちゃん・莞太くん

専業主夫経験1年あり！
限られた時間にやるべきことをこなすのが大変でしたが、お母さんの大変さを知ることができる良い機会でした。

家事も育児もひととおり出来ますよ！
あとは子どもと遊んで触れ合うことを大切にしています。

門脇 大作さん
遥重くん

磯田 朋さん
權くん

子育てに自信のある
お父さんたちに聞きました

自慢できる 子育て術

自転車で海や山、公園などどこにでも連れて行ってあげられるのは、体力に自信のある僕ならではのと思っています♪

私が子どもの頃に、父が朝食を作ってくれていたのので、同じように朝の子どもを支度を担当！心がけているのは、言葉で教えるだけでなく経験させることです。英語で話しかけてあげられるのも私ならではのと思っていますね。

E.Cさん
Lちゃん・Rちゃん

子育てに男の力を！

「子育ては夫婦でするもの」、そのような考えを持っている男性が増えてきました。女性の社会参加への意欲が高まったことなどを理由に、共働きを選択する世帯も増えていきます。町の両親教室(出産に向けての準備・勉強などをするもの)でも、お母さん以外の参加者(父・祖父母)が、最近多く見られるようになってきました。しかし、子育てに関わりたくても「何を手伝って良いかわからない」お父さん、子育てを積極的にしてこなかったから「孫育てもちょっと難しくさう……」というおじいちゃんなどもまだまだいるようです。

今月号では、父親や祖父、地域の人も「子育て・孫育てをする男性」にスポットを当て、男性だからこそできる子育て方法やその苦労、いざという時の相談先などをお伝えします。子育てにおける男性の役割はどんなものでしょう。家族で、そしてこの葉山町という地域で、子どもを育てること、そのために男性が力を発揮できることを皆さんと一緒に考えてみましょう！

子育てって何すればいいんだろ??

お父さんどじもいるじや

せつまつじや

綾部さん一家
(写真左から)
尚子さん、琥牙
くん、真吾
さん、煌竜
くん

乳児
まずは抱っこに挑戦しよう

赤ちゃんは、抱っこされることによって、愛されていることを感じます。つまり、抱っこは子育ての基本！首の座っていない乳児は、軽く曲げたひじに赤ちゃんの首をのせ、もう片方の手でお尻を支えましょう。

《お父さんポイント》

長時間の抱っこには、体力が必要。そこで力のあるお父さんをお願いしたい！ただ抱っこするだけではなく、話しかけたり笑いかけたりすることで、言葉の発達や情緒的な成長につながるとされています。



幼児
自然の中で一緒に遊ぶ♪



歩けるようになると同行動範囲が広がり、外遊びも増えます。のびのびと遊ぶことができるよう、周りに危険なものがないか確認し、絶対に目を離さないようにしましょう。

《お父さんポイント》

外で遊ぶことは、自然と触れ合うことです。虫や鳥、草木、花の名前をたくさん知っているお父さんは、子どもにとってなんでも教えてくれる存在になります。これを機に、凶鑑などで自然に関する勉強をしてみましょう。

児童
時には厳しく叱ることも

自我が育ち始めるとわがままを言ったり、言うことを聞かなくなったりします。そんな時には「それはいけないことだ」と行動を正すしつけをするのが親の役目。感情的にならず、子どもにわかる言葉で、なぜいけないのかを根気よく伝えましょう。

パパいつも
ありがとう

なんでも任せろ！



ママによる

採点結果

90点

いつもお風呂や寝かしつけ、ミルクは手伝ってくれているので、一人で一日育児を任せることがあっても安心です！また、「何か手伝うことある？」など積極的に声をかけてくれるのも嬉しい！

ごはんが作れないのと、最近仕事が忙しくてあまり遊べる時間がないので、今後の期待を込めて90点にしました。

せっかく葉山に住んでいるのだから、来年は海にも遊びに連れてってあげたいね。これからも協力し合って、楽しみながら子育てしていきましょう！





こんな風にしてみよう！ お父さん子育てへのアドバイス

お父さんはお母さんに比べて、子どもと過ごす時間が少ない場合があるため、子どもとの過ごし方について、イメージしづらいかもしれません。そこで、子ども育成課の保健師に「お父さん子育てへのアドバイス」を聞きました。

まずは情報収集！

子どもが好きな遊び、興味があること、友達関係などは、お母さんを始めとした子どもに関わる人に聞いてみましょう。子どもを知ることが、その子に合わせた遊びや過ごし方を考える上でも大切になり、またその情報を夫婦で共有することは、子育ての土台にもなります。

普段のペースを崩さず

子どもはお父さんとの遊びが大好き。つい張り切って、興奮させすぎたり、疲れさせてしまったりしがちです。楽しい外出などで生活リズムを崩してしまったり、普段口にしていないものを食べることが増えたりしていませんか？「いつも気をつけているのに」とお母さんから言われないよう(笑)、大人ではなく、子どものペースに合わせましょう。

お父さんとはこれ！

身体を使った遊びやスポーツ、道具を使った工作などはお父さんの方が得意かもしれません。「お父さんとはこれ」のような遊びがあると、大きくなった時にも親子の良い思い出になります。

安全な環境への配慮

室内はシンプルにして、子どもの動きを目に入りやすくし、誤飲や火傷、転倒などの室内事故を予防しましょう。また、車での外出時はチャイルドシートの使用を忘れずに。

夫婦の会話を！

「何か手伝う？」「一緒にやるよ」など、何気ない言葉がけが大切です。仕事で忙しくて日中は手伝えないお父さんが「今日はどうだった？」「おつかれさま」と関心を持って聞いてくれるだけでも、お母さんにとって大きな支えとなります。子育てでうまくいかないことがあっても「お前のせいだ」などと責めるのは良くありませんね。自分たちだけで解決できないことは、周囲に相談してみましょう。

憧れのお父さんに

お父さんの姿は、男の子にとっては身近な「同性モデル」、女の子にとってはこれから異性をイメージしていく上での「男性モデル」として大きな影響を与えるものです。子どもにとって、良い手本となるよう、憧れるようなお父さんでいてください。

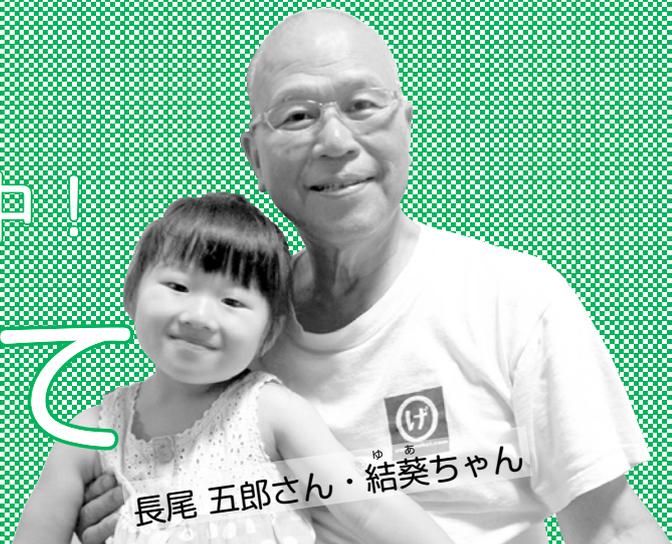
子育ての悩みはこちらへ

- ・子ども相談ホットライン(☎876-1135・平日8時30分～17時)
子育てに関することで、専門の児童相談員や保健師等が相談に応じます(秘密厳守)。
- ・鎌倉三浦地域児童相談所(☎828-7050)
18歳未満の子どものあらゆる問題に、家族だけでなく、学校の先生や地域の人にも相談ができます。
- ・民生委員・児童委員(詳しくは、福祉課☎内線231へ)
子育てに悩む保護者の相談や支援をはじめ、地域に関する幅広い相談をサポートします。
- ・かながわ小児救急ダイヤル(#8000 か☎045-722-8000・毎日18時～24時)
夜間に子どもの体調で判断に迷った場合、家庭での対処方法や医療機関に受診するべきかを相談できます。



いくつになっても勉強中！

私の孫育て



子育てとの違い

娘が小さかった頃は、仕事が忙しい時期で、妻に申し訳ないと思いつつも、子育てに協力的な父親だとは言えないものでした。しかし、今は昔に比べて時間があるので、余裕を持って孫育てができています。

今は孫が3歳なので、言葉遊びや鼻歌を歌って曲名を当てるといった簡単なことで楽しんでいます。たまに「これは英語でなんて言うの？」など、どきどきとする質問をぶつけられるので、きちんと答えられるように私も勉強しているんです。

受け継がれている心

私の立場は、あくまでも子育てをサポートすることなので、娘の子育てに口を出すことはありませんが、お互い愛情をたくさん与え、いけなしいことは根気よく説得することを心がけています。特に話し合ったわけではありませんが、自然と娘にもそのような「子育ての方針」が伝わっていたと感じました。

娘の子育てしている姿を見て、自分たち夫婦の子育てを振り返ることもありますよ。孫を通して娘を見ると、私たちの子育てが良かったのかなと自画自賛してしまうことも(笑)。

元気いっぱい葉山の子

今の子どもは、医療・環境・経済的に恵まれている子が多いと思いますね。その代わりに、私が子どもの頃は当たり前だった、川で泳ぐなどの自然で遊ぶことが少なくなってきたいるとも感じます。だから積極的に外に連れ出すようにしています。

また、この町は、近所の人などのあいさつや声かけが活発。子どもたちだけで遊んでいても、地域の人が気にかけてくれたり、悪いことをしたら叱ってくれたりするような雰囲気があることに安心しています。

孫は生きる活力です

今は孫の成長を見守るために、長生きしなくては、と健康管理や体力作りにも励んでいます。日々色々なことができるようになる姿を見ながら、妻と一緒に「生きる活力が湧くね」だなんて話しています。

おばあちゃんとする
おままごと遊びも大好き！



子ども写真の撮り方講座 「覚えておきたい七つのポイント」

- 1 座ったり、寝そべったりなど、子どもの目線に合わせて撮る姿勢を低くしてみよう！
- 2 自然な表情を撮るには、カメラから顔を外して子どもに話しかけながら！
- 3 動き回る子には撮影モードを「スポーツ」に設定してブレを防止！
- 4 デジタルカメラの長所を生かし、とにかく連写して、あとで良いものを選ぼう！
- 5 可愛い表情や小さな手足はアップ、おもちゃと一緒に全身で、など撮影距離に工夫！
- 6 お父さんと、お母さんと、祖父母と、など色々な人と撮ると将来の思い出になる！
- 7 少し大きくなったら、子どもにカメラを持たせて撮らせてみるのも面白い！



葉山小・中学校のPTA会長を務めた

小西 毅さん



最近の子どもは同学年の仲間遊ぶことが多い。しかし色々な学年の子とも交流することで、上下関係や将来のための社会勉強などを学んでもらいたいです。
そして地域の人は、「あいさつをする・ごみを拾う・人に優しくする」といった姿勢を子どもに見せてほしい。子どもは大人のことをよく見ています。言葉で言うよりも行動を見せてあげると、自然とその姿が身につくと思いますよ。

広報はやまの月報

元PTA会長から

子どもは大人を映す鏡、

言葉で叱る前に

自らの行動で示そう

地域の宝を見守る男たちからメッセージ

サッカーチームのコーチを務める

伊原 巧さん



スポーツの指導者から

技術指導だけじゃない

豊かな人間性を

育ててあげたいな

自分の子どもはもちろん、チームの子にも、責任を持って接するようになっています。例えば、悪いことをしているのを見かけたらきちんと叱るし、コーチとしての指導が足りなかったなと反省する。積極的に話しかけることも心がけていますよ。
葉山の子は穏やかな子が多いので、それを生かして「サッカーのつまみ、いい子を育てよう！」が私たちコーチの間での指導する時の合言葉になりました。

現在子育て真っ最中の職員です

新倉 裕二 副主幹



子育て中の町職員から

肩に力を入れすぎず

できるところから

取り組んでいこう

私は二人の息子を持つ父親です。これまでの自分の子育てを振り返ってみると、「自分の好きな時だけ」「いいところだけ」関わるような、にわかイクメンでした。しかし、子育てとは子どもの成長と共に親である自分も成長できるものなんですよ。
今回の皆さんの体験談や子育ての工夫を参考に、将来の子どもの姿を思い描きながら、前向きな子育てをしていきたいなと思いました。

編集後記 「葉山の輝く人々と出会って」

「男を磨く！子育てのすすめ」という特集タイトルのとおり、今回お話を伺った皆さんは、どなたも表情が輝いて生き生きとしていたのが印象的でした。そして「やらなきゃいけない」というのではなく、「ごく当たり前、そして楽しんで」取り組んでいますよね。

また、「子どもと海や山で遊ぶことが多い」と話していた人が多かったことから、自然の豊かさが子育てにとって重要だということ、そして葉山町の特色・魅力を再確認することができました。これからも、そんな自然と共に育つ子どもを、地域の一員として見守っていきたいと思います。
(企画調整課 高野 愛子)

